

# 市政ニュース

市議会役員決定

## 議長は椿野仁司さん、副議長は関貫久仁郎さん

11月11日、市議会臨時会が開催され、議会役員が決まりました。

議長に椿野仁司さん、副議長に関貫久仁郎さん、議会議長の監査委員に嶋崎宏之さんがそれぞれ選ばれました。



監査委員  
嶋崎宏之



副議長  
関貫久仁郎



議長  
椿野仁司

なお、各委員会の委員長、副委員長は次のとおりです。

(敬称略)

○は委員長、○は副委員長です。

### 常任委員会

#### 【総務委員会】

○奥村忠俊 ○松井正志

【文教民生委員会】

○広川善徳 ○浅田 徹

【建設経済委員会】

○野口逸敏 ○前野文孝

### 特別委員会

【議会広報特別委員会】

○古池信幸 ○上田倫久

【交通網問題調査特別委員会】

○門間雄司 ○西田 真

【防災対策調査特別委員会】

○井上正治 ○井垣文博

### 議会運営委員会

○升田勝義 ○福田嗣久

市議会の本会議の様子は、市ホームページのインターネット中継でも見ることができます。

## 豊岡の挑戦～小さな世界都市の実現に向けて～ 本市の取組みがプラチナ大賞「優秀賞」受賞

10月23日、イイノホール(東京都千代田区)で、地域の課題解決に向けた先進的な取組みを表彰する「第3回プラチナ大賞」の審査発表会が行われ、豊岡市の取組み「豊岡の挑戦～小さな世界都市の実現に向けて～」が「優秀賞」を受賞しました。

プラチナ大賞は、さまざまな創意工夫をして、過疎化や高齢化などの地域の課題解決

を目指す自治体や民間企業の取組みを評価しようと、民間団体の「プラチナ構想ネットワーク」が実施しています。

今年は今国から57件の応募があり、最終候補に残った10件の審査発表会が行われました。



▲プラチナ大賞の審査発表会

## 姉妹都市長野県上田市との交流

### 上田市副市長、市議会議長、市民ツアーが来訪

11月2～3日、長野県上田市から、副市長の井上晴樹さん、市議会議長の下村 栄さん、上田市民ツアー(豊岡市合併10周年記念上田市民ツアー)事業実行委員会主催の参加者ら約30人が来訪しました。

3日に開催された「出石お城まつり」では、毎年好評を博している上田市特産「りんご」の無料配布や特産物展で、まつりを盛り上げていただくとともに交流を深めました。



▲出石お城まつりで中貝市長があいさつ

## 主な市政の動き

### 10月

- 14日・高齢者向け「市ホームページ閲覧・操作講習会」開催(12月9日)
- 15日・下水道使用料改定市民説明会(日高、16日・竹野、18日・出石、19日・但東、21日・城崎、24日・豊岡)
- 18日・台風23号メモリアル事業「防災学習会」
- 19日・市政懇談会(出石、22日・日高、30日・竹野、11月2日・城崎、11月5日・豊岡、11月16日・但東)
- 23日・プラチナ大賞「優秀賞」受賞
- 25日・台風23号メモリアル水防訓練
- 29日・東京×兵庫移住・起業促進セミナー(東京・神戸・豊岡)
- 30日・豊岡市人口ビジョン「豊岡市地方創生総合戦略」策定
- 31日・市美術展(11月3日)
- 11月
- 2日・旅行見本市「WTM2015」に出展(6日・イギリス)
- 4日・出石家老屋敷リニューアル記念式典

## 世代間の情報格差の解消へ

### 高齢者向け「市ホームページ閲覧・操作講習会」開催

市内の地区公民館等で、高齢者向けの「市ホームページ閲覧・操作講習会」を開催しています。

この講習会では、世代間の情報格差解消のため、ホーム



▲豊岡市ホームページ(イメージ) (<http://www.city.toyooka.lg.jp>)

ページから情報を入力する方法を分かりやすく説明し、また、災害時に役立つ防災関連ページや、議会のインターネット中継ページの利用方法などを紹介しています。

受講者は、マウスの操作、文字の入力などの仕方を聞いた後、市ホームページの閲覧・検索を体験し、自身の知りたい豊岡市の情報の取得方法を学んでいます。

この講習会は、12月9日ま

## 地域の災害対応能力を高めるために

### 台風23号メモリアル事業「防災学習会」開催

10月18日、豊岡市民プラザで、地域の防災力の向上を図るため、平成16年台風23号メモリアル事業「防災学習会」を開催しました。

講演会では、市長が台風23号の災害対策本部の対応を振り返り、隣近所など地域の支え合いの重要性を呼び掛けました。また、奈良女子大学准教授の西村雄一郎さんは、情報技術の活用や地域で防災

マップを作ることなどの他、子どもたちへの防災教育のあり方を提案しました。

交流サロンでは、子ども向けの防災教室を開催。子どもたちは避難生活を想定した非常用持ち出し品を考えたり、防災すごろくなどで防災について楽しく学びました。

また、過去の水害体験・記憶を決して風化させないため、水防災写真展も行いました。



▲砂防えん堤について模型で学ぶ子どもたち



▲真剣なまなざしの受講者

## 中貝市長の徒然日記 ⑦

### つながるご縁

コウノトリ米の売り込みにニューヨークに職員を派遣したことは、前回書きました。

職員がちょうど現地に着いた頃、切り絵作家の久保修さんからほく宛てに「週刊ニューヨーク生活」の三浦さんをよく知っているので訪ねてはどうか、と連絡が入りました。同紙は、アメリカでの生活情報を届ける日本語無料紙で、全米各地で配布されています。

職員は早速アポを取って会いに行き、記事にいただきました。今後の支援もいただくことになりました。

先日、竹野の旧大森小学校の校舎を舞台に「三原谷の川の風まつり」が開かれました。イラストレーター黒田征太郎さんが3年連続で参加されました。ここには、黒田さんの部屋があって、教室の壁一面に黒田さんのコウノトリの絵が描かれています。

黒田さんと話していると、画家の永本冬森さんが入ってこられました。永本さんは、

最近では、シンガーソングライターで俳優でもある山崎まさよしさんの肖像画を描き、山崎さんのイベントで谷川俊太郎さんと対談をされるなど活躍中です。風まつりにも出展しておられます。

「黒田さんがおられて驚きました。10年前、無一文でニューヨークに行ったとき、黒田さんにごちそうになりました」と永本さん。「ニューヨークと言えば、最近米の売り込みを始めて、週刊ニューヨーク生活」とほくが話すと、黒田さんが「三浦さんならよく知っているよ。コウノトリ米なら他にも〇〇、〇〇も力を貸してくれる」それは、ぜひ!

八鹿に住む私の従妹からメッセージが届きました。「週刊ニューヨーク生活で市の職員の記事を担当したのは、村岡出身の親友の娘さんです。ニューヨークのマンハッタンで、それもお米をもって豊岡市から来た! ってことでびっくりだったそうです。この縁をなんとか繋げたいと彼女は意気込んでいます」なんとというつながり!